

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ南林間		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	86	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方々からのニーズを面談等を通してキャッチをすることができており、それを支援計画に反映して日々の支援に役立てることができている。	保護者の方と面談を行う前後に、職員間で検討会議を行うことにより多角的な視点で支援について考えることができています。	日々の支援のケア記録で一層詳しく記録を取れるようにし、個別支援計画更新をする際に支援の振り返りをし易くすることによって計画の質を上げていきたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方に対する事業所での取り組みを共有しきれていない。	現状、保護者の方が活動の様子を知れる機会としては日々の連絡帳と送迎時の職員との会話だけにとどまってしまう。	各ご家庭へ向けての連絡帳や日々の連絡は継続して行っていく。 教室全体としての取り組み、お子様の反応等についても保護者の方に周知できる方法を検討する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ南林間

公表日 2026年3月10日

利用児童数 86

回収数 30

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3	0	3		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	5	0	7	・普段スタッフさんが何名で見てくださっているかわかりません。延長利用時にスタッフが足りないため教室で過ごすのではなく、他利用者の送迎に付き添ったと聞いたため。	・お子様の利用人数に対して職員を配置している ・延長ご利用時にも教室で支援を行えるよう、人員配置や送迎表の組み方を再検討する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4	0	5	実際の活動様子を見たことがないため。	・教室内では視覚支援を行った教室整備、支援をおこなっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	0	6	実際の活動様子を見たことがないため。	・毎日の清掃業務、品質管理チェックを継続して行い、お子様たちが快適に過ごせる環境を整えていく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	2	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	1	毎日楽しく参加できるイベントがあって子どもが満足できる内容だと思います。	・今後もお子様たちの興味関心を集められるようなイベント設定を行っていく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	1	0	面談時に保護者に様子を伝えてくださったり、要望も取り入れた上で作成していると思う。	・保護者の方々と連携させていただきながら、より良い計画作成に努める。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1	0	1		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	7	10	・公園などにたくさん連れて行っていただいております。 ・他の事業所との交流があったらいいと思います。合同で集まってスポーツをしたりとか。	現状、直接的な他事業所との関わりはございませんが大和市の連絡会等で交流できるよう他事業所に働きかけを検討。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	8	9	6		保護者からの要望があれば計画していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	6	10	10		保護者の方が集まれる機会は現在設けられていない。市で行われている交流会や研修会等の案内を掲示物などで行い、地域のイベントのお知らせをしている。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	2	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	3	0	0	以前、個人情報が記載されている裏紙を2回ほど持ち帰ってきたことがあります。	今後同じことが起こらないよう、職員全員に個人情報の処分方法の周知を行う。個人情報の漏洩が無いよう、厳重な取り扱いを徹底する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	5	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	0	0	0	毎日行きたいというほど楽しみにしています。	今後ともお子様が通いたいと思えるような事業所作りに努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	・「行きたくない」と言ったことがないくらいで大変感謝しています。 ・大変満足しています。いつもありがとうございます。	今後ともお子様が通いたいと思えるような事業所作りに努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ南林間				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	3		年齢が上がってきており体格も大きくなってきたことで教室が狭くなっている印象があるが、教室内を整理整頓するなどして工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	9		利用者様の障害特性によっては人員の不足感を感じる日もあるが、教室内の職員の配置場所や担当の振り方を工夫して支援を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	5		車椅子利用の利用者様が在中での、万が一の避難時に非常階段で降り際の危機管理ができるよう日頃の訓練で非常階段を下りる練習をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3		トイレに思うようなタイミングで行けないこと。(男女共通トイレのため)	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	5		廊下をクールダウンスペースとして利用するときもある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	定期的な面談で保護者のニーズを把握し、業務につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	2	定期的に本社の品質管理チェックが入っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0		会社での研修はあるが、個人で参加している研修もある。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1		職員の中で移行支援に関する知識がない現状がある。研修等を通して知識を共有していく場を設けたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	月一回の頻度で会議を行い考えている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1		利用する利用者様によっては実施できるイベントが限られている時もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	5		毎日行っていないが、必要に応じて行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	ケア記録を書くことによって改善に繋がっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	言葉で伝えられない利用者様も意思決定支援をしっかりと行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	教室内で会議をした後に、児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2	関係機関との連携は取れている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	1	すべての学校とは難しいが、良好な関係を築くことができおり密に連絡を取れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	8		事業所外との交流は行っていないが、機会があれば参加していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	7		現在参加はできていないが、機会があれば参加していきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	送迎時に保護者の方と話す機会を設けており、情報共有をすることができている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	9		集まって何かを催すことはできていないが、個別で保護者の方からの相談を受ける機会は意識的に増やしている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	1		事業所からの発信は弱い印象があるが、会社全体では取り組んでいる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	鍵のかかったキャビネットに入れて保管できている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	保護者に状況が伝わりやすいように話をしている職員が多い。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	7		機会があれば実施・参加していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	毎月避難訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	歩行困難な利用者様の避難時の動きを毎月の訓練で確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	どの利用者がどんな薬を飲んでいるか、症状があるのかを書類を通じて把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	AEDの使い方を定期的に確認している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	避難先がどこになるのかを保護者に説明できている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	ヒヤリハット事案があった際には、事業所内で共有し全員が再発の防止に努められるようになっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	2ヶ月に一度、事業所内で虐待防止研修を行うことができている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	身体拘束が必要な利用者様には事前に同意書をいただき、実際に拘束を行う際には詳細の記録を議事録等に残している。		